

第61回 関東東山病害虫研究会 研究発表会・総会プログラム

日時：2014年3月4日（火）10:30～16:35
 場所：長野県長野市 JA長野県ビル・アクティールホール
 受付：アクティールホールロビー 10:00～

虫害会場（アクティールホール） 一般講演 発表10分、質疑2分（1 鈴8分、2 鈴10分、3 鈴12分）

時間	番号	講演題目	座長
10:30	虫1	水田における黄色粘着板を用いたヒメトビウンカの発生消長調査法 ○平江雅宏・柴卓也（中央農業総合研究センター）	桑沢久仁厚 （長野県野菜花き試験場）
10:42	虫2	エンサイの有機栽培施設における害虫の発生と対応策 ○長坂幸吉 ¹ ・日本典秀 ¹ ・奥圭子 ¹ ・後藤千枝 ¹ ・守屋成一 ¹ ・杜建明 ² （ ¹ 中央農業総合研究センター・ ² （有）ユニオンファーム）	
10:54	虫3	レンコンネモグリセンチュウの汚染拡大は循環灌漑によって起こるか？ ○高木素紀 ¹ ・久恒和雅 ¹ ・河崎昌義 ² ・豊田剛己 ³ ・宮本拓也 ⁴ ・鹿島哲郎 ¹ （ ¹ 茨城県農業総合センター園芸研究所・ ² 元茨城県農業総合センター園芸研究所・ ³ 東京農工大学・ ⁴ 茨城県南農林事務所）	
11:06	虫4	ナシヒメシクイの性フェロモントラップへの誘殺時期とナシ被害発生時期の関係 ○椎葉岳彦 ¹ ・加川敬祐 ² ・富田恭範 ³ （ ¹ 茨城県病害虫防除所・ ² 茨城県西農林事務所・ ³ 現茨城県農業総合センター園芸研究所）	村上芳照 （山梨県果樹試験場）
11:18	虫5	地域ブランド「多摩川梨」におけるハダニ類の薬剤感受性検定 ○山崎大樹・神本昌美・糸山享（明治大学大学院農学研究科）	
11:30	虫6	明治大学生田キャンパスの果樹研究圃場におけるカブリダニ類の種構成と発生消長 ○神本昌美・山崎大樹・糸山享（明治大学農学部）	
11:42	虫7	ツヤアオカメムシの寄主植物はスギ・ヒノキ以外に存在するか？（2）クロガネモチの場合 ○本田知大・糸山享（明治大学大学院農学研究科）	
11:54	昼食・休憩		
13:00	総会（会場：アクティールホール）		
13:35	特別講演	群馬県におけるパーティシリウム病の発生生態と防除 白石俊昌氏（元群馬県農業技術センター）	渡邊健 （茨城県病害虫防除所）
14:25	休憩		
14:35	虫8	埼玉県におけるチャトゲコナジラミの発生経過とジノテフラン粒剤による防除の検討 ○小俣良介（埼玉県農林総合研究センター茶業研究所）	糸山享 （明治大学農学部）
14:47	虫9	静岡県におけるチャトゲコナジラミの発生経過 ○小杉由紀夫・芳賀一（静岡県病害虫防除所）	
14:59	虫10	DNAマーカーによるチャ園のケナガカブリダニ動態と個体群構造の解析 ○日本典秀 ¹ ・佐藤幸恵 ² ・屋良佳緒利 ³ ・下田武志 ¹ （ ¹ 中央農業総合研究センター・ ² 現アムステルダム大学・ ³ 現野菜茶業研究所（金谷））	
15:11	虫11	タバコカスミカメに対するトマトの定植時剤等の影響 ○土井誠・土田祐大・石川隆輔・片井祐介・多々良明夫（静岡県農林技術研究所）	長坂幸吉 （中央農業総合研究センター）
15:23	虫12	アブラムシ寄生蜂ナケルクロアブラバチ <i>Ephedrus nacheri</i> のマミーに対する薬剤の影響 ○小林誠・西村浩志・伊村務（栃木県農業試験場）	
15:35	虫13	明治大学生田校舎南圃場のキュウリにおけるヒメハナカメムシ類の餌選択 ○江藤千裕・糸山享（明治大学農学部）	
15:47	虫14	千葉県コナガ個体群におけるジアミド系殺虫剤への感受性 ○清水健 ¹ ・大谷徹 ¹ ・河名利幸 ¹ ・遠藤正樹 ² （ ¹ 千葉県農林総合研究センター・ ² JA全農ちば）	後藤千枝 （中央農業総合研究センター）
15:59	虫15	キャベツ栽培における育苗期灌漑剤の処理時期の違いによるネギアザミウマへの防除効果 ○川田祐輔・大矢武志（神奈川県農業技術センター）	
16:11	虫16	栃木県で新たに問題となった害虫種に対する薬剤の殺虫効果 ○春山直人・松本華苗（栃木県農業環境指導センター）	
16:23	虫17	レタスにおけるナモグリバエ寄生数の品種間差異 ○小木曾秀紀 ¹ ・栗原潤 ² ・袖山栄次 ¹ （ ¹ 長野県野菜花き試験場佐久支場・ ² 長野県南信農業試験場）	
16:35	閉会		

病害分科会A (JA長野県ビル12階 12A会議室) 一般講演 発表10分、質疑2分 (1 鈴8分、2鈴10分、3鈴12分)

時間	番号	講演題目	座長
10:30	病A-1	降雨時のナン枝における分生子流下消長および落葉程度からみたナン黒星病の秋季防除時期の推定 ○金子洋平 ¹ ・梅本清作 ² ・牛尾進吾 ¹ (1千葉県農林総合研究センター・ ² 元千葉県農業大学校)	岩波靖彦 (長野県南信農業試験場)
10:42	病A-2	ナン苗木の栽培方法の違いがナン萎縮病の病徴発現数に及ぼす影響の有無 ○塩田あづさ・金子洋平・鈴木達哉 (千葉県農林総合研究センター)	
10:54	病A-3	施設栽培のピワ樹に発生した <i>Phytophthora cactorum</i> による新梢および花房の枯死 ○鐘ヶ江良彦 ¹ ・葛木康徳 ¹ ・吉田明広 ² ・植松清次 ¹ (1千葉県農林総合研究センター・ ² 千葉県安房農業事務所)	
11:06	病A-4	<i>Globisporangium</i> [Pythium] 属菌2種によるパッションフルーツ根腐病 (新称) ○飯浜春奈 ¹ ・竹内純 ² ・笹井裕里 ¹ ・小場悠貴子 ³ ・小野剛 ² ・鍵和田聡 ¹ ・堀江博道 ¹ (1法政大学生命科学部・ ² 東京都農林総合研究センター・ ³ 現全農神奈川農本部)	
11:18	病A-5	花壇植栽の花き類9種に新発生した白絹病 ○館彩香 ¹ ・笹井裕里 ¹ ・飯島柚奈 ¹ ・森田琴子 ¹ ・市之瀬玲美 ¹ ・吉澤祐太郎 ¹ ・小西紀 ² ・鍵和田聡 ¹ ・堀江博道 ¹ (1法政大学生命科学部・ ² 西武造園株式会社)	佐藤衛 (花き研究所)
11:30	病A-6	センリョウで発生した2種の新病害～灰色かび病、キタネグサレセンチュウ～ ○村崎聡・沼田慎一・小川孝之 (茨城県農業総合センター鹿島地帯特産指導所)	
11:42	病A-7	<i>Burkholderia gladioli</i> によるファレノプシス褐色腐敗病 (病原追加) ○横内京子 ¹ ・舟久保太一 ¹ ・國友義博 ¹ ・瀧川雄一 ² (1山梨県総合農業技術センター・ ² 静岡大学創造科学技術大学院)	
11:54	昼食・休憩		
13:00	総会 (会場: アクティーホール)		
13:35	特別講演	群馬県におけるパーティシリウム病の発生生態と防除 白石俊昌氏 (元群馬県農業技術センター)	渡邊健 (茨城県病害虫防除所)
14:25	休憩		
14:35	病A-8	フリージアから3種のウイルスを同時検出するmultiplex RT-PCRの開発 ○水田里徳 ¹ ・前野絵里子 ¹ ・長尾郁弥 ¹ ・延原愛 ¹ ・遠藤三千雄 ¹ ・川合昭 ¹ ・竹内純 ² ・西尾健 ¹ (1法政大学生命科学部・ ² 現東京都農林総合研究センター)	藤永真史 (長野県野菜花き試験場)
14:47	病A-9	Real-time PCRによる土壌中のウリ類ホモプシス根腐病菌の高感度定量のための土壌DNA抽出法の検討 ○中田菜々子 ¹ ・横山とも子 ¹ ・吉田重信 ² (1千葉県農林総合研究センター・ ² 農業環境技術研究所)	
14:59	病A-10	茨城県の主要作物におけるウイルス一括診断技術の開発 ○岡田亮 ¹ ・沼田慎一 ² ・西宮智美 ¹ (1茨城県農業総合センター生物工学研究所・ ² 茨城県農業総合センター鹿島地帯特産指導所)	
15:11	病A-11	生分解ポットを利用したピーマンモザイク病の過敏感反応を抑制する定植技術 ○後藤万紀・沼田慎一・小川孝之 (茨城県農業総合センター鹿島地帯特産指導所)	
15:23	病A-12	養液栽培キュウリに発生した <i>Pythium aphanidermatum</i> による苗立枯れとカボチャ台木を利用した防除 ○窪田昌春 ¹ ・東出志桐 ¹ ・中野明正 ¹ ・安場健一郎 ² ・大森弘美 ³ ・金子壮 ¹ (1野菜茶業研究所・ ² 現岡山大学農学部・ ³ 現生物系特定産業技術研究支援センター)	舟久保太一 (山梨県総合農業技術センター)
15:35	病A-13	トマト青枯病に対する生物農薬及び化学農薬の防除効果の検討 ○青木久美・和氣貴光 (栃木県農業試験場)	
15:47	病A-14	<i>Pantoea ananatis</i> によるタマネギの被害と育苗期の防除 ○守川俊幸 ¹ ・西口真嗣 ² ・白川隆 ³ ・宮元史登 ⁴ ・田村美佳 ¹ ・長谷川優 ⁵ ・山崎篤 ⁶ (1富山県農林水産総合技術センター農業研究所・ ² 兵庫県立農林水産技術総合センター農業センター・ ³ 野菜茶業研究所・ ⁴ 富山県砺波農林振興センター・ ⁵ 鳥取県農林総合研究所・ ⁶ 東北農業研究センター)	
15:59	病A-15	土壌くん蒸剤のリスク削減と管理技術開発に向けた土壌病害虫のクロロピクリンに対する感受性検定 ○武田藍 ¹ ・横山とも子 ¹ ・山本幸洋 ¹ ・原田浩司 ¹ ・小原裕三 ² (1千葉県農林総合研究センター・ ² 農業環境技術研究所)	窪田昌春 (野菜茶業研究所)
16:11	病A-16	土壌消毒によるレタス根腐病の防除効果 ○渡辺賢太 ¹ ・金田真人 ² ・伊藤瑞徳 ¹ ・草野尚雄 ¹ ・小河原孝司 ³ ・鹿島哲郎 ¹ (1茨城県農業総合センター園芸研究所・ ² 茨城県鹿行農林事務所・ ³ 茨城県農業総合センター)	
16:23	病A-17	露地栽培アスパラガスの茎枯病に対する体系防除プログラムの作成 ○藤永真史 ¹ ・小木曾秀紀 ² ・山岸菜穂 ¹ ・石山佳幸 ¹ ・吉沢栄治 ¹ (1長野県野菜花き試験場・ ² 現長野県野菜花き試験場佐久支場)	
16:35	閉会		

病害分科会B (JA長野県ビル12階 12C会議室) 一般講演 発表10分、質疑2分 (1 鈴8分、2 鈴10分、3 鈴12分)

時間	番号	講演題目	座長
10:30	病B-1	簡易的な太陽熱土壌消毒によるレタスパーティシリウム萎凋病発病低減の可能性 ○伊藤瑞穂 ¹ ・金田真人 ² ・渡辺賢太 ¹ ・小河原孝司 ³ ・草野尚雄 ¹ ・鹿島哲郎 ¹ (¹茨城県農業総合センター園芸研究所・²茨城県鹿行農林事務所・³茨城県農業総合センター)	植草秀敏 (神奈川県農業技術センター)
10:42	病B-2	千葉県秋冬ネギベと病防除支援情報システム「ネギベと病なび」の構築 ○横山とも子・牛尾進吾・吉橋泰彦 (千葉県農林総合研究センター)	
10:54	病B-3	茨城県内で発生したニラの葉枯症状 ○大橋俊子 ¹ ・岡部克 ¹ ・小河原孝司 ² ・草野尚雄 ³ ・佐藤義典 ¹ ・河又仁 ¹ (¹茨城県病害虫防除所・²茨城県農業総合センター・³茨城県農業総合センター園芸研究所・⁴茨城県農林事務所)	
11:06	病B-4	いもち病菌の簡易DNA調製法の検討 早野由里子・林敬子・芦澤武人・鈴木文彦 (中央農業総合研究センター)	酒井和彦 (埼玉県農林総合研究センター)
11:18	病B-5	土壌菌量と気象条件が稲こじ病の発生に及ぼす影響の検討 ○芦澤武人 (中央農業総合研究センター)	
11:30	病B-6	オオムギ黒節病に対する生育期薬剤散布による種子の汚染粒率低減効果 ○青木一美・横須賀知之 (茨城県農業総合センター農業研究所)	
11:42	病B-7	ダイズ茎疫病の圃場抵抗性の発現時期の品種間差異 ○加藤雅康・越智直 (中央農業総合研究センター)	
11:54	昼食・休憩		
13:00	総会 (会場:アクティールホール)		
13:35	特別講演	群馬県におけるパーティシリウム病の発生生態と防除 白石俊昌氏 (元群馬県農業技術センター)	渡邊健 (茨城県病害虫防除所)
14:25	休憩		
14:35	病B-8	千葉県キク生産圃場におけるキク茎えそ病 (CSNV) の発生状況 ○國友映理子・清水健・牛尾進吾 (千葉県農林総合研究センター)	津田新哉 (中央農業総合研究センター)
14:47	病B-9	栃木県の促成トマトの施設周辺におけるコナジラミ類とトマト黄化葉巻病の発生状況 ○松本華苗・春山直人・森島正二・福田充 (栃木県農業環境指導センター)	
14:59	病B-10	各種アブラムシのウメ輪紋ウイルス媒介能力 ○高田勇一 ¹ ・松本紗良 ¹ ・加藤綾奈 ² ・菅原優司 ² ・小野剛 ² ・木村康太 ¹ ・遠藤三千雄 ¹ ・川合昭 ¹ ・鍵和田聡 ¹ ・西尾健 ¹ (¹法政大学生命科学部・²東京都農林総合研究センター)	
15:11	病B-11	日本産野生サクラのウメ輪紋ウイルス感受性 ○蝶名林春香 ¹ ・清水健太 ¹ ・山井加奈美 ¹ ・勝木俊雄 ² ・遠藤三千雄 ¹ ・川合昭 ¹ ・鍵和田聡 ¹ ・西尾健 ¹ (¹法政大学生命科学部・²森林総合研究所)	青木一美 (茨城県農業総合センター農業研究所)
15:23	病B-12	平成25年の埼玉県内におけるイネ黒すじ萎縮病の多発事例について ○酒井和彦 (埼玉県農林総合研究センター)	
15:35	病B-13	埼玉県における2013年に多発したイネ縞葉枯病とヒメトビウンカ保毒虫密度 ○根岸進・矢島俊明・石井博和 (埼玉県病害虫防除所)	
15:47	病B-14	群馬県におけるイネ縞葉枯病の発生動向 ○小倉愉利子・酒井宏・小池隼 (群馬県農業技術センター)	
15:59	病B-15	イネ縞葉枯病抵抗性品種におけるウイルス増殖に関する2, 3の知見 ○早野由里子 (中央農業総合研究センター)	山下亨 (長野県農業試験場)
16:11	病B-16	ELISA法によるイネ縞葉枯ウイルス保毒虫検定における検体の簡易処理法 ○杉山恵乃 ¹ ・柴卓也 ² ・奥田充 ² ・平江雅宏 ² ・大藤泰雄 ² (¹茨城県農業総合センター農業研究所・²中央農業総合研究センター)	
16:23	閉会		